

# intertek news

## Vol.75

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

## CONTENTS

### 01 新年のご挨拶

### 02 特集

#### 03 キャリアを活かして審査員へ

～ISO審査員になるためのスタートアップ・プログラム紹介～

▶ キャリアを活かして審査員へ

～ISO審査員になるためのスタートアッププログラム紹介～

▶ FAQ

### 04 News&Topics

- ▶ 世界のISO認証件数が発表
- ▶ ISO/IEC27002改訂について
- ▶ JACB主催オンライン講演会
- ▶ Q&A

### 05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介  
(日本地下石油備蓄株式会社 串木野事業所)
- ▶ 連載よみもの「審査員の心理」(環境編)  
「支援」

### 06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ  
「コロナ禍におけるリモート審査」  
(審査員 八田 博典)
- ▶ 環境とISO14001  
「第6次エネルギー基本計画」

### 07 お客様からのお便り

- ▶ 「クーラントサーバー楽～ラント」  
(岩本工業株式会社)
- ▶ 「至誠の心で尽くします」  
(至誠堂製薬株式会社)

### 08 研修コースのご案内

- ▶ Information: ISOセミナー講師募集のお知らせ
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り  
(永淵 弘人)

## インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>



## 新年のご挨拶

代表取締役 きむら ともあき  
**木村 朋聡**

年頭にあたりご挨拶を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられている皆さま、全国各地で発生した自然災害などの被害に遭われたすべての皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をご祈念いたします。

本年も何卒よろしく願い申し上げます。



インターテック・サーティフィケーションは、2020年のパンデミックの始まりにより、多くの皆さまと同様、この2年間、事業の転換を余儀なくされました。必要とされる審査が、期限通りに行えない事態により、多数のお客様にご迷惑をおかけしました事をお詫び申し上げます。

また、日々変わる緊急事態宣言等によるリモート審査やオンラインセミナーの導入など、新たな試みにご協力をいただき大変ありがとうございました。

インターテックグループとしては、この難局を大きなチャンスととらえ、新しい世の中の創造に貢献していきたいと考えております。

2021年には、Build Back Ever Better (BBEB：築こう、今を超える未来を) という活動を世界的に開始いたしました。これは、このパンデミックで、様々なことがリスタートする中、単に復興するのではなく、過去最高のサステナブル(持続可能)な未来を築けるように、私達の提供するサービスで世の中に貢献しようという活動です。

多くの皆さまがすでに導入されている、環境マネジメントシステム(ISO14001)や、感染症なども含む、社員の方々の安全を守る労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001)等のサステナビリティに関わる認証サービスも、この活動の一部となります。

さらに、昨年、インターテック・サーティフィケーションでは、新たに、この活動を加速させるため、サステナビリティアシアランスチームを創設しました。この新たなチームは、更なる持続可能な会社活動、そして、今を超える未来を築くために貢献する、様々なサービスを提供することを目的としております。

弊社がサステナブルな社会のためにできる事は非常に多岐にわたります。私達の保証、試験、検査、認証を通じて、環境対策、温暖化効果ガスの抑制、リサイクルの推進、森林や水産加工物の適正な管理、食の安全、再生可能エネルギー活用など様々です。昨今、サステナビリティに関する会社活動はあらゆる業界で必要要件となってきており、弊社のサービスを通じて、今を超える未来のための活動と、お客様の事業の発展の両立をサポートしていきたいと考えております。

私達インターテックグループは、「品質と、安全、サステナビリティを世の中にもたらすこと」を、会社の社会的存在意義としております。インターテック・サーティフィケーションの社員一同も、お客様への付加価値をもたらす審査や、監査の提供を通じて、世の中への貢献に取り組んで参りたいと存じます。

2022年が、皆さまにおきましても、「今を超える未来を築ける」年になりますよう祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

皆さまと、ご家族のご健康を心よりお祈り申し上げます。

# キャリアを活かして 審査員へ

～ISO審査員になるための  
スタートアップ・プログラム紹介～

インターテック・サーティフィケーション  
審査員室

## 1

### はじめに

インターテック・サーティフィケーションでは、多くのISO審査員が、自身の経験を活かし、お客様に付加価値を与えられる審査を目標に、日々活躍しております。その審査員の大半が、審査員としての活動を、セカンドキャリアからスタートさせています。今回セカンドキャリアを考える上での選択肢の一つとして、審査員になるためのスタートアップ・プログラムについてご紹介させていただきます。

## 特集

転職や起業も珍しくなくなり、働き方が変わってきている現代では、セカンドキャリアの定義も定年退職後に限らず、広く捉えられるようになってきています。これまでの経験を活かしたセカンドキャリアを考える上での選択肢の一つとしてご参考になれば幸いです。（編集部）

## 2

### スタートアップ・プログラムについて

弊社では、これまで積んでこられた経験を活かして、社会に貢献できるISO審査員という仕事を多くの方々に知っていただきたく、第一弾として、2021年6月29日より「キャリアを活かせる！ISO審査員になるためのスタートアップ・プログラム」を計6回、3ヵ月間にわたりオンラインにて開講し、9月25日に終了いたしました。本プログラムは、これからISO審査員を目指される方を対象に、審査員という仕事、ISO審査に必要な知識、実際の審査事例等について学んでいただくことを目的としております。

ISOの知識やご経験のない方にも受講いただける内容となっておりますので、セカンドキャリアとして近い将来、審査員としての活動を視野に入れている方、審査員という仕事にご興味があり、詳しくお知りになりたい方には是非おすすめするプログラムです。

### <受講スケジュールと審査員取得・応募までのタイムライン>【一例】

2021年						2022年		
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
			・修了テスト合格			・審査員研修コース合格	・審査員資格の取得、認証機関への応募	
①スタートアップ・プログラム受講 (計6回)				スタートアップ・プログラム受講後、 ②以降のプロセスに進まれるか否かは任意です。			③審査員資格の取得 ④認証機関に審査員として応募。採用の場合、 訓練等終了後、活動開始。 ★弊社に審査員応募される方は、応募時の書類 選考をプログラム修了後、3年間免除	
				②インターテック主催の審査員研修コース 受講（5日間） 通常価格の15%off でのご提供				

ISO審査員になるには、「審査員研修コース 5日間」の合格および審査員登録機関での審査員資格取得が必須となりますが、研修機関でもある弊社の審査員研修コースへのお申込みの場合、受講料の割引制度もございます。また、本プログラムを修了され、弊社のISO審査員に応募された方は、書類選考の免除等の特典もご用意しております。尚、本プログラム修了が、審査員研修コース合格および審査員採用をお約束するものではありません。

ご参加いただいた受講生のお声をご紹介します。

### 《本プログラムへの参加理由》

- ・ISOの勉強がきっかけで、より実用的に対応できる審査員として通用するレベルまで上げたいと思った。目指すなら、主任審査員として実務ができるようになりたい。
- ・ISO審査員の資格を習得し、審査員として仕事をしたい。CSR監査、環境および職場環境にも役立てたい。
- ・現在までISOをコンサル支援の元で取得してきたが、規格をもう一度基礎から学ぼうと思ひ参加。また、自分に将来的に審査員として活動の可能性があるのか挑戦してみたかった。
- ・ISOの概念をしっかり習得し、現業務の参考にするとともに、将来的には審査員の資格も取得したい。医薬品、医療機器、食品メーカー等幅広い業種に対する行政経験を活かせる審査員として、新たな職種へ挑戦していきたい。
- ・自動車部品の品質部門を長く務め、ISO事務局を担当する中で、セカンドキャリアとしてスキルを活かせればと思ひ、HPを見て直ぐに応募した。

### 《受講後のご感想》

- ・Zoomで受講したのは初めてだったが、講師の話も楽しく聞きやすく、資料も見やすかったので時間が短く感じられた。非常に参考になり、受講して全体的に良かった。
- ・内容が理解しやすいよう説明してくれたのでわかりやすかった。関係者も温かく対応してくれ、気持ち良く集中して研修に取り組めた。

- ・単に規格要求事項の説明をするのではなく、規格の背景をかみ砕いて説明をしていただけたのが良かった。また「仮想の事業計画」によるワークショップは大変興味深く参加した。審査員としての注意点や審査の裏側の話も聞け、大変参考になった。
- ・コロナ禍の中、リモートで参加できたことは安心面でも良かった。特に1回目は、自己紹介の中で、全国から様々な業種の方々が参加しておられることがわかり、いろいろな意見や考え方が双方向で吸収できると期待できた。全6回を通じてインターテックの皆様のお人柄や社風もよくわかり、ご縁があれば、自身のステップアップをはかる中で、今後審査員を検討したいと思った。

### 3 おわりに

今回は、受講生の70%の方に審査員研修コース5日間をお申込みいただき、審査員資格取得の第一歩を踏み出していただきました。次回開講は未定ですが、これまでの積んでこられた経験を活かすことができ、社会に貢献できるISO審査員という仕事を多くの方々に知っていただく機会になればと思っております。

審査員、本プログラムへご興味のある方は、東京事務所・審査員室までお気軽にお問い合わせください。

(連絡先:jpn.ba.auditors.off@intertek.com)

## FAQ (よくあるご質問)

### Q. ISO審査員になるにはどのくらいかかりますか？

A. 審査員になるまでに要する時間は、個人によって異なりますが、資格がない場合は、まず、ISO審査員資格の取得が必要になります。審査員研修コース(5日間)を受講・修了(合格)後、IRCA(国際審査員登録機構)等審査員登録機関へ登録して審査員資格を取得し、資格取得後、審査機関へ応募・採用を経て、審査員としての活動がスタートとなります。

### Q. 応募からの流れについて具体的に教えてください。

- A. 弊社へのご応募の場合
- ① 応募(応募要件があります)→書類選考・面談→採用
  - ② 導入教育(審査方針、審査で使用するWebツール等含)
  - ③ 実地トレーニング。オブザーバーとして実際の審査に参加し、審査に必要なスキルを学びます。

④ オブザーバー終了後、審査員としての適性他、社内承認を経て正式契約、メンバー審査員として活動開始。およそこのような流れになります。また、年に数回、審査員会議を通じた教育訓練などのバックアップもあります。

### Q. インターテックにはどのくらいの審査員が活動されていますか？都市圏以外でも審査員契約は可能ですか？

A. 弊社で契約している審査員は約300名、北海道から沖縄まで全国各地の審査員が活動しています。審査業務は移動が多いため、出張が可能で要件を満たしていればご契約は可能です。

\* 弊社の認証を受けられている組織に所属する方は、在籍中の業務委託契約は締結できませんことを予めご了承下さい。また、弊社に採用された場合の稼働形態は、業務委託契約になります。

## 世界のISO認証件数が発表

ISO(国際標準化機構)は、世界のISOマネジメントシステム規格(MSS)の認証件数について集計・調査した“ISO Survey 2020”を公表しました。これは、2020年末時点でのISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO27001(情報セキュリティ)、ISO22000(食品安全)、ISO45001(労働安全衛生)、ISO13485(医療機器)、ISO50001(エネルギー)、ISO22301(事業継続)、ISO20000-1(ITサービス)、ISO28000(サプライチェーンセキュリティ)、ISO37001(贈収賄防止)、ISO39001(道路交通安全)について集計されたもので、12規格の認証総数は、前年比18%増と大幅に増加。増加要因の一つとして、ISO45001の2018年発行に伴うOHSASからの移行期間により件数が大幅に伸びたことが挙げられています。また、中国の認証数の大幅増加により、ISO9001、ISO14001とも認証総件数が増加しています。

規格別の認証数では、ISO9001は916,842件(前年比4%増)で、国別では日本は4位の32,287件、ISO14001は348,473件(前年比12%増)で、日本は2位の17,804件でした。その他、ISO27001は5,645件で日本は2位、

ISO22000は1,503件で4位、ISO45001は1,400件でした。この調査の詳細については、ISOのホームページをご覧ください。(https://www.iso.org/the-iso-survey.html)

## ISO/IEC 27002改訂について

ISO/IEC 27001:2013の附属書Aの管理策は、8年前の改訂時のISO/IEC 27002から直接派生しています。情報セキュリティは日々変化しており、当時から大幅に変化した技術面を反映させる目的で、ISO/IEC 27002の更新が進められています。執筆時点現在DISの段階で、2021年末の発行見込みのため、本誌発行時には発行されている予定です。ISO/IEC 27002が改訂されると、ISO/IEC 27001の附属書Aに反映されて整合性が図られ、その後、ISO/IEC 27001は新しい管理策・番号として、2022年5月頃に発行されると言われていました。

改訂版のISO/IEC 27002では、管理策の数は、114種から93種に減少しますが、新しく追加される管理策は、A.5.7 脅威インテリジェンス、A.5.23 クラウドサービス、A.5.30 ICT継続性、A.7.4 物理的セキュリティ監視、A.8.9 構成管理、

A.8.10 情報削除、A.8.11 データマスキング、A.8.12 データ漏洩防止、A.8.16 監視サービス、A.8.22 Webフィルタリング、A.8.28 安全なコーディング、などを含み、急速に進化する新しいテクノロジーを反映したものとなります。詳細はISMS認証部(03-3669-7408)までお問い合わせください。

## JACB主催オンライン講演会

日本マネジメントシステム認証機関協議会(JACB)は、弊社を含む、IAF(国際認定機関フォーラム)加盟の認定機関により認定されたマネジメントシステム認証機関の協議会です。JACBでは、昨年、オンライン講演会を3回実施、前回は昨年12月、「QUALITY MANAGEMENTを考える」が行われました。基調講演の「トヨタの品質経営 自工程完結活動の推進」、事例発表の「すかいらーくにおける内部監査の活動」、「イオンリテールのEMSの取り組み」など、大変興味深い内容となっていました。

講演会は、JACB会員認証機関の認証組織も対象となっており、弊社認証のお客様はご参加可能です。詳細はJACBのホームページをご覧ください(http://www.jacb.jp/)。

## Q&A

お客様からいただきましたご質問についてご紹介いたします。

### Question

当社でSDGsを取り入れることになり、Intertek News 73、74号の特集記事「ISOを活用した四方よし経営」を参考に進めています。記事では、ISO14001をSDGsの4つの目標に関連付けていましたが、具体的な関連指針のようなものはありますか？

### Answer

ISOの公式サイト「UN Sustainable Development Goals – can ISO 14001 help? – Yes!」(英文)では、ISO14001と関連深いSDGs目標と、各ターゲット項目例として、以下のように記載(抜粋)されています。ISO14001の運用は、SDGsを取り入れた活動であることがわかりますので、ご参考にさせていただけるかと思えます。

- 1 – 貧困をなくそう 1.5-気候関連の極端な出来事や環境的な災害を減らす。
- 2 – 飢餓をゼロに 2.4-気候変動、極端な天候、干ばつ、洪水などへの適応力を強化する。
- 3 – すべての人に健康と福祉を 3.9-有害化学物質や空気、水および土壌汚染を削減する。
- 4 – 質の高い教育をみんなに 4.7-持続可能な開発とライフスタイル促進の知識を習得する。
- 6 – 安全な水とトイレを世界中に 6.3-投棄、放出、排水を半減させ、水質を改善する。

- 7 – エネルギーをみんなにそしてクリーンに 7.2-再生可能エネルギーシェアを増加させる。
- 8 – 働きがいも経済成長も 8.4-資源効率を改善し、経済成長を環境悪化から切り離す。
- 9 – 産業と技術革新の基盤をつくろう 9.4-クリーンで環境に優しい技術を採用する。
- 12 – つくる責任つかう責任 12.3-小売および消費者レベルで食品廃棄物を半分にする。
- 13 – 気候変動に具体的な対策を 13.1-自然災害に対する回復力と適応能力を強化する。
- 14 – 海の豊かさを守ろう 14.1-海洋の破片や栄養汚染など海洋汚染を予防、削減する。
- 15 – 陸の豊かさを守ろう 15.5-森林保全 自然生息地、生物多様性の喪失を止める。

(参照:https://committee.iso.org/files/live/sites/tc207sc1/files/Final%20UN%20SDG%20and%20ISO%2014001%20071216.pdf)

お客様紹介

# 日本地下石油備蓄株式会社 串木野事業所 様

(ISO14001:2015、ISO45001:2018認証登録)

〔取材者〕 審査員 美濃 英雄  
Hideo Mino

日本地下石油備蓄株式会社は、石油の安定供給の為1986年設立、串木野事業所(鹿児島県いちき串木野市)は、1994年に完成しました。2014年、ISO14001、OHSAS18001(その後ISO45001へ移行)を認証取得されました。菊間事業所(愛媛県今治市)も弊社でISO14001、ISO45001の認証を取得されています。

串木野国家石油備蓄基地では、地下岩盤内に空洞を設け、地下水圧等により貯蔵原油を封じ込める水封式地下岩盤タンク方式が採用されています。この方式は土地の有効利用、環境保全、安全性、経済性等に優れています。タンク幅:18m 高さ:22m 長さ:1,110m(35万kl) x 1ユニット、2,220m(70万kl) x 2ユニットで、約168万klの石油が備蓄されています。

審査では、「事業所の活動方針が、ミッション、ビジョン、バリューの思考導入で、体系化されている。あるべき姿と現状のギャップを課題とされ、所員フォーラムで周知されている。ストレスチェック分析は、働き甲斐(やりがい)の側面でも分析されている。」などが、強みとされました。



串木野国家石油備蓄基地(地下透視図)

2021年6月18日、1986年7月30日の事業所創業以来続く、労働無災害350万時間を達成されました。国のエネルギー安全保障の一翼を担う事業所の方々は、日々安全操業に努められています。基地は国有施設のため、基地内の一般見学は原則行われていませんが、基地建設の際に使用された作業用トンネルを利用した展示館があり、興味深い内容が公開されています。



消防訓練



地下岩盤タンク(左)と配管

<https://www.chikabi.co.jp/>

連載  
よみもの

## 審査員の心理

第33回(環境編)

### 「支援」

環境主任審査員 大村 敏夫  
Toshio Omura

規格の7章は「支援」で、マネジメントシステムを運用するのに必要な体制の整備の要求事項が規定されています。「資源(7.1)」については、主にインフラストラクチャーなどが該当し、提供することは経営者の責任ですが、適切に維持・管理することは組織の人々にも責任があります。「力量(7.2)」については、規格では重要な業務には、適切な力量のある人を担当させることを求めています。重要な業務としては「パフォーマンスに影響を与える業務」はISO9001でも特定されていますが、ISO14001では「順守義務を満たす組織の能力に影響を与える業務」も規定されています。法的要求事項の情報を収集する人、法律に基づいた運用を実施する人、順守評価をする人などが該当すると考えられます。特に順守評価をする人は、法的要求事項を理解した上で組織の活動の中で適切に管理されているかを判断しなければならないという、

かなり高度な力量が要求されていると考えられます。

力量を確保するための手段として、殆どの組織で教育・訓練が計画・実施されています。社員全員に対して一般的な「環境教育」を実施している場合もありますが、環境管理を担当する人に対しては、その業務に即した、専門的な力量確保が求められます。例えば、廃棄物について社内ルールに従って分別することは全社員に要求されるでしょうが、廃棄物の保管管理、処理の委託を担当する人には、法律に従った適切な管理ができることが求められます。その他、設備の運転、保守点検、環境の監視・測定などを担当する人などにも、それぞれの業務に応じた力量が求められます。

力量には、公的資格も含まれ、公害防止管理者、エネルギー管理士などの資格に加えて、作業主任者技能教習を修了していることなども力量になり得ます。組織の業種や規模に応じて、管理責任者を選任しなければならないこともあり、選任された人には、その役割を遂行する力量も求められます。

審査では、力量の不足を直接指摘することは難しいのですが、管理上の欠陥が力量に起因することもあり得ることに気付いていただきたいと思っています。力量の向上、伝承は組織の永遠の課題と言えるでしょう。



## 審査員リレーエッセイ ⑦③

## From

福井県越前市

八田 博典

(はった ひろのり)



## Profile

専門分野：ISO9001—電気、電子、設計・開発

経歴：インターテックの前身となるムーディー時代を含め、契約審査員として約20年の実績

審査員からのエッセイをお楽しみください。

## 「コロナ禍におけるリモート審査」

審査員が訪問して審査を行うことが当然でしたが、コロナ蔓延後は審査先への訪問が難しいケースも出てきたことから、それに対処するためにリモート審査の仕組みが準備されています。

リモート審査における受審側のメリットとしては直接の対面でないため外部から何う審査員に対



するリスクがなくなります。デメリットは、審査時に参照する文書・記録等の事前送付をお願いすることや審査前の接続テストなどの手間・負担が多少なりとも増えることです。又、審査員にとっては情報量が限られることから審査先組織のためになる審査が行えているかが問われます。リモート審査のプラットフォームは打合せの上、Zoom、Microsoft Teams、スマホ、電話回線などを使用します。通信環境により不安定が発生することもあり、Zoom+スマホ等の組合せで続ける場合もあります。審査に臨む際、互いに寛容の気持ちが必要になります。今後も、リモート審査は、審査が継続して実施できるツールだと思えます。

## 連載「環境とISO14001」⑦③

## 「第6次エネルギー基本計画」

環境主任審査員 郷古 宣昭 Nobuaki Goko

2020年10月に菅前首相は「2050年カーボンニュートラル」(CO<sub>2</sub>排出量を森林・海洋吸収量とバランスさせること)、翌年4月に「2030年温室効果ガスの排出量2013年比46%減以上」を宣言しました。これを受けて経済産業省による「第6次エネルギー基本計画」が策定され、上記宣言を具現化する中長期計画が2021年10月22日閣議決定されました。内容は多岐にわたるので2030年迄の省エネ計画と2030年電源構成に絞って紹介します。

## ■ 2030年までの省エネルギー計画

2015年に策定された省エネ計画では2030年の温室効果ガス排出量を2013年比26%削減としていましたが、今回の計画では2030年46%削減に強化されました。このため、2015年に策定した省エネ対象項目約50件(原油換算エネルギー5036万kℓ)を見直し、数件の新規項目を加え、原油換算6200万kℓ規模の省エネ計画としていました。各部門の特徴的な例を示します。

- 産業・転換部門:設備機械の改善、水素還元製鉄、バイオマス製品の製造
- 業務・家庭部門:ビル・住宅の断熱とパネル設置推進
- 運送部門:燃費改善、次世代自動車の普及、貨物運送の効率化

## ■ 2030年電源構成計画

2030年の電力需要は8640億kWh、これに要する供給量は9340億kWhの見込みで、その電源構成比を付表で示します。

最大の問題は石炭火力19%と水素・アンモニア1%を計上していることです。この原稿を作成している11月3日現在、第26回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)が開かれていて、先進国は「2030年石炭火力全廃」を宣言するよう宿主国から要請されています。そんな状況下で、日本は世界の潮流に逆行する国として非難を受けることは必定でしょう。

計画書には安価な水素・アンモニアを海外から調達し、石炭と混焼してCO<sub>2</sub>排出量を下げることが記載されています。しかし、安価な水素・アンモニアは化石燃料から製造するので製造元で多量のCO<sub>2</sub>を排出することになります。

原子力の20~22%も問題です。2030年の原発による発電量は約2000億kWhですので現在再稼働している原発10基分1000億kWhでは足りず、休止中の17基を総動員する必要があります。これから8年間で地元住民の了解を得て、地震対策・避難計画・廃棄物対策をクリアして再稼働できるのは数基に留まり、原子力の割合が下がることになるように思います。

さて、再生可能エネルギーについてはどうでしょうか。計画書には「最優先に最大限導入」を明記し

ていますが、欧米各国が50~70%を掲げる中で、日本の36~38%は少なすぎるように思います。

## ■ 第6次エネルギー基本計画をどう見るか

(1)私たちが目指す「2050年カーボンニュートラル社会」は省エネ対応のみならず、温暖化の影響を激しく受けつつ適応して行く社会でもあります。住居、避難所、移動、働き方や生活の仕方も変わることが予想されます。「2030年省エネ計画」は現状の積み上げではなく「2050年カーボンニュートラル社会」の姿からのバックキャストも考慮されるべきだと思います。

(2)本計画では、これまで世界の非難を浴びてきた日本の石炭火力の推進を、2030年後も維持することを明確にしました。「2050年カーボンニュートラル」との整合については排ガスの貯留と化学処理して有効利用するとしていますが、実現性が乏しく、理解は得られないでしょう。

付表

2030年電源構成比	
電源	%
水素・アンモニア	1
再生エネルギー	36~38
原子力	20~22
天然ガス火力	20
石炭火力	19
石油火力	2



お客様  
からの  
お便り

## クーラントサーバー楽～ラント

No.01  
Letter

岩本工業株式会社 (ISO9001:2015、ISO14001:2015認証登録)

経営企画室長 篠嶋 健二



倉部工場 (石川県白山市)

岩本工業株式会社は、織機の金属加工会社として1949年に石川県金沢市で創業。現在は白山市に2つの拠点を構え、建設機械、工作機械、産業機械などの高精度ユニット及び、部品製造を主な事業としております。

2001年にはISO14001、2005年にはISO9001を認証取得し継続的な改善活動から、従来は人手で行われていたクーラント作業を完全自動化する【クーラントサーバー 楽～ラント】を2015年に開発し、2018年より同装置の全国販売を開始致しました。開発部門を有していない弊社が自社製品を全国販売する過程では販売後のクレーム発生など

の不安もありましたが、ISO9001:2015【8.3項 製品及びサービスの設計・開発】を中心に規格の要求事項を何度も読み返し、開発に取り組む、水道法もクリアして市場投入しました。省人・自動化が求められる製造業界の生産性向上に貢献出来ることを願っております。



モノづくりの楽しさを仲間と共に



展示会に出品した楽～ラント

<https://iwmt-kg.co.jp/>

## 至誠の心で尽くします

No.02  
Letter

至誠堂製薬株式会社 (ISO9001:2015、ISO14001:2015認証登録)

海外事業部部长 富士 浩祐



本社 (奈良県御所市)

弊社は、奈良県御所市にて一般用医薬品及びサプリメントの製造販売業をおこなっているメーカーです。大正6年創業以来「至誠の心で尽くします」を社是に、道徳と経済一体の経営を実践し、国内外の皆様へ安全で安心してご使用頂ける製品を提供して参りました。また、事業を通じ、住みよい地球と豊かな社会を残すため、全従業員一丸となり、人びとの保健衛生維持向上と地球環境保全の推進に取り組んでおります。その安全・安心をより一層強固なものとするため、2021年に

ISO9001/ISO14001を認証取得致しました。

100年の歴史がある中で先人先輩から受け継いできたノウハウとスキルをもとに国内のお客様より医薬品やサプリメントの受託・OEMのご依頼を頂いたり、2001年より取り組んでいる海外輸出の実績が奈良県知事より「海外リーディングカンパニー」として表彰を受けたことや国際基準PIC/S GMP対応工場・海外での承認申請のノウハウを持っていることが海外展開に関しても弊社の強みとなっております。

今回ISO9001/ISO14001を取得したことにより、より一層、お客様に安全・安心・満足頂けるよう従業員一同、取り組んで参ります。

今回ISO9001/ISO14001を取得したことにより、より一層、お客様に安全・安心・満足頂けるよう従業員一同、取り組んで参ります。



同社キャラクター  
「薬至丸 (やくしまる)」  
愛称 やっくん

<http://www.shiseido-ph.co.jp/>

＝ISOセミナー講師募集のお知らせ＝

ISOセミナー講師としてインターテック・サーティフィケーションで活躍しませんか？

インターテック・サーティフィケーションでは、ISOセミナー講師を募集しております。  
講師やコンサルタント経験をお持ちの方、講師にご興味がある方のご応募をお待ちしております。  
※弊社で認証取得されているお客様は、ご在職中の応募はできません。稼働形態は業務委託契約です。予めご了承ください。

【募集要項】首都圏もしくは関西周辺在住にて、複数日の地方出張ができる方

- ・ISO 9001 / 14001 / 27001 / 45001 セミナー講師  
IRCA, JRCA, IEMAの審査員補以上の資格保有者。
- ・ISO 22000 セミナー講師  
HACCP トレーニングコース16時間、ISO22000審査員コース40時間(審査技術を含む)、ISO22000のトレーニングコース8時間(FSMS審査員コースに含まれていれば不要)の修了者。

【ご応募・お問い合わせ】

- ご応募は、弊社ウェブサイトの採用ページからご応募ください。 <https://ba.intertek-jpn.com/recruit/>
- お問い合わせ先 [jpn.ba.auditors.off@intertek.com](mailto:jpn.ba.auditors.off@intertek.com)

Information on training courses

研修コースのご案内

開催日程・開催地等、研修に関する詳細は弊社ホームページにてご確認ください。 (<https://ba.intertek-jpn.com/study/>)

審査員養成コース

審査員養成コースは、審査員を目指される方だけでなく、最近では企業様から、品質管理体制の改善や、内部監査員のさらなるスキルアップを目指してご参加いただくことが増えております。業務改善や力量向上を目指している皆様のご参加をお待ちしております。

- ISO9001 (5日間) / ISO14001 (3日間) / ISO45001 (3日間)  
※ISO14001/45001の3日間コースは受講要件がございます。詳細は弊社ホームページにてご確認ください。

開催地 東京(弊社東京事務所)

- 日程
- ISO9001・・・3/26(土)～30(水)
  - ISO14001・・・6/25(土)～27(月)
  - ISO45001・・・5/28(土)～30(月)

ISO27001:2013  
内部監査員養成コース/オンライン

これから内部監査員を目指す方、すでに内部監査員でさらなるスキルアップを目指す方、どなたでも受講いただけます。

日程 4/15(金)

好評！  
オンラインセミナー

オンラインセミナー好評開催中！  
各種規格(ISO9001/ISO14001/ISO45001/ISO27001)の内部監査員養成コース及びISO14001を活用したSDGsセミナー等を開催しております。また、従来の講師派遣型セミナーもオンライン対応可能です。

\*弊社ホームページよりお申込みいただけます。FaxまたはEmailでのお申込みの場合は、ホームページより申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入の上、ご送付ください。

受講生からのお便り

ISO9001:2015 審査員養成コースを受講して

ISO9001:2015 審査員養成コース(2021年5月広島会場) 受講  
永渕 弘人

一昨年から続くコロナ禍の中、東京での講習会を見送り続け、広島でISO審査員養成コースが開催されると聞き、参加させて頂きました。コースは5日間充実した講義と演習で、研修講師のポイントを押さえた規格の説明と図解に聴き入り、頭の中がISO用語と規格一色に染まりました。こういった経験は長い会社人生でも数回あったかどうかという貴重な経験でした。

現在は、審査員補として活躍できるように審査員準備を進めています。そんな中、個人発表、グループ討議などを中心に、講師の言葉と、地元広島ของบริษัทの方々と体験したことを、懐かしく思います。色とりどりのマーカーと付箋の貼られた教材を読みながら、良い経験をしたと思い返しています。

インターテック・サーティフィケーション株式会社 <https://ba.intertek-jpn.com/>

東京事務所 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-2 日本橋ノーススクエア TEL: (03) 3669-7408 FAX: (03) 3669-7410 E-mail: info.ba-japan@intertek.com

大阪事務所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル5F TEL: (06) 6150-0571 FAX: (06) 6150-0575 E-mail: info.ba-osaka@intertek.com